

1. ごみ排出（収集）量の現状と推移

(1) 分別区分別

	H19	分別区分一部変更 H20年10月～		大型ごみ収集実施 H22年10月～		単位：トン		
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
燃やせるごみ	25,819	27,026	28,984	29,623	29,593	29,764	30,161	29,325
燃やせないごみ	6,682	5,048	3,591	3,552	3,330	3,205	3,503	3,263
資源物	867	815	828	869	855	855	865	853
危険ごみ	50	51	56	67	66	67	72	73
大型ごみ				108	255	238	268	237
資源（集団）	9,121	8,798	8,378	8,200	8,157	7,960	8,063	7,725
小型家電							45	57
古着古布								41
計	42,539	41,738	41,837	42,419	42,256	42,089	42,977	41,574

(2) 排出源区分別

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
家庭系	32,484	31,782	31,693	32,073	32,061	31,568	32,133	31,107
事業系	9,964	9,872	10,067	10,279	10,130	10,462	10,794	10,415
環境清掃等	91	84	77	67	65	59	50	52
計	42,539	41,738	41,837	42,419	42,256	42,089	42,977	41,574

2. ごみの分別区分、収集方式・体制

(1) 家庭ごみ

①分別区分（分別の手引き 参照）

燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源物・危険ごみ・大型ごみ

②収集方式・体制

・ごみステーション方式 6, 080箇所

運搬先	燃やせるごみ	環境クリーンセンター及び最終処分場
	燃やせないごみ	環境クリーンセンター（ガス化熔融方式、破碎） 最終処分場
資源物		リサイクルセンター（選別、圧縮、梱包） びん・缶・ペットボトル・白色トレイ・紙パック リサイクルルートへ
危険ごみ		廃棄物ストックヤード（保管） 電池・蛍光管（北見市の業者へ） ガスカセット・スプレー缶（市内の業者へ）
大型ごみ		環境クリーンセンター及び最終処分場

・拠点ボックス回収方式 小型家電：7箇所、古着古布6箇所

運搬先	小型家電	石狩市の業者へ
	古着古布	函館市の業者へ

(2) 事業ごみ

①分別区分

燃やせるごみ・燃やせないごみ

※環境クリーンセンターに運ばれる事業ごみの分別は、家庭ごみに準じた区分

②収集方式・体制

・一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼

・搬入許可を得て、自ら環境クリーンセンターに自己搬入

3. リサイクルセンター施設概要

項目	詳細
運用開始	平成 12年 3月 22日
処理能力	18.5トン/日
処理対象物	びん類、かん類、ペットボトル、紙パック、白色トレイ

4. 環境クリーンセンター施設概要

(1) ガス化溶融施設（燃やせるごみ）

項目	詳細	備考
稼働開始	平成14年12月1日	<ul style="list-style-type: none"> 処理後の搬出物 スラグ：路盤材に利用 鉄アルミックス：資源として売却 脱塩残渣：最終処分場
メーカー	三井造船株式会社	
処理方式	キルン式ガス化溶融炉	
施設規模	70 t / 24 h × 2 炉 (140 t)	
発電設備	1980kW 1基 (売電なし)	・年間電気使用量の約76%を発電
非常用発電設備	560kW 1基	・停電等の非常時に使用

(2) 不燃・粗大ごみ処理施設（燃やせないごみ）

項目	詳細	備考
稼働開始	平成14年12月1日	<ul style="list-style-type: none"> 処理後の搬出物 鉄、アルミ：資源として売却 破碎可燃分：ガス化で処理 破碎残渣：最終処分場
処理方式	一次破碎：二軸せん断式 二次破碎：高速回転式	
施設規模	35 t / 5 h (日)	

(3) 一般廃棄物最終処分場

項目	詳細	備考
埋立開始	平成16年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画(埋立期間) H16年～H30年(15年間) 実績では4～5年延命可能
埋立地面積	34,000m ²	
埋立地容量	78,000m ³	
処理対象ごみ	破碎不適物、焼却・破碎残渣	

(4) ガス化溶融施設・不燃・粗大ごみ処理施設概略フロー図

